

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	まちづくり支援事業		決算書頁	266
視点・政策	01 暮らし・01 住む			
施策	01 良好な都市環境を整備します			
所管部・課	都市政策部	都市政策課	作成者	課長 宇野 功哉

2. 事業の目的

住民主体のまちづくりに向けた支援を行い、市民とともに計画的なまちづくりを推進する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		30年度	29年度	比較	財源		30年度	29年度	比較	
内	総事業費	20,922	21,008	△ 86	一般財源		20,922	21,008	△ 86	
	事業費	3,832	3,796	36		国県支出金				
	職員人件費	17,090	17,212	△ 122		地方債				
	減価償却費					特定財源(都市計画税)				
参考	職員数(人)	2	2		特定財源(その他)					
	再任用職員数(人)									

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	まちづくり支援事業	細事業事業費(千円)	3,832
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	住民説明・情報発信		
(2) 30年度の取組と成果			
主な取組	① 計画区域内の建築等に届出を課し、基準を遵守するように審査指導した。(建築専門員報酬) …3,832千円		
	①平成30年度地区計画届出件数		
	地区名	(件)	
	阪急日生ニュータウン(川西市)	6	
	鶯が丘地区	6	
	多田グリーンハイツ水明台地区	20	
	多田グリーンハイツ向陽台地区	29	
	多田グリーンハイツ緑台地区	32	
	大和東1丁目	11	
	大和東2・5丁目地区	1	
	清和台地区	25	
	けやき坂地区	5	
	東畦野山手地区	4	
	湯山台地区	11	
	中央地区	12	
	満願寺地区	1	
	高芝地区	2	
		165	

②平成26～30年度地区計画の決定・変更数

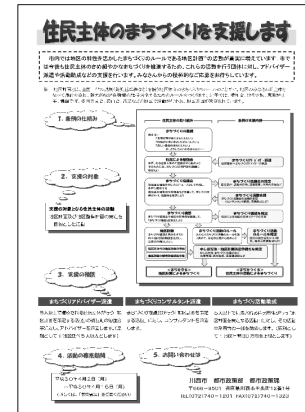
項目	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
地区計画の決定数	0 地区	0 地区	1 地区	0 地区	0 地区
地区計画の変更数	1 地区	2 地区	1 地区	2 地区	1 地区
地区計画区域内での届出件数	168件	165件	163件	158件	165件

住民主体により策定された多田グリーンハイツ緑台地区地区計画の都市計画変更を支援した。

③平成26～30年度相談件数

(単位：件)

地域	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
日生ニュータウン	3	5	1	2	4
大和団地	1	2	5	0	1
グリーンハイツ	0	6	1	7	3
清和台	1	0	1	2	3
けやき坂	3	0	2	1	1
東畦野山手	0	1	0	0	0
湯山台	2	1	3	3	0
鶯台	3	2	1	0	0
高芝	5	4	9	1	1
その他	2	0	7	2	3
合計	20	21	30	18	16



募集パンフレット

地区計画決定地区等において、地区計画の検討状況や基準の運用に関する相談に対応した。

5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

事業目的に対する自己評価							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> </table>	市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	<p>左記の具体的説明</p> <p>住民主体のまちづくり活動を活性化させるため、地区計画の変更に関して職員によるアドバイスを実施するなど本事業の推進に努めたが、新規策定検討地区の発掘やアドバイザー派遣の実施には至らなかった。</p>
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。							
市民の利便性や事業の効率性が向上した。							
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○						
<p>課題と改善について</p> <p>ニュータウン等では高齢化がすすみ、空家や人口流失の増加が予想される中、街区の環境を保全するとともに、まちの活性化に向けて、地区計画のあり方（基準の見直し等）を検討する必要がある。</p>	<p>令和元年度以降における具体的な方向性について</p> <p>本事業の成果である地区計画が各地区で策定されることで、地区住民や事業者が基準を遵守し、住民主体のまちづくりへとつなげていく。今後も、地区計画制度を活用した街区の環境保全や、まちの活性化に向けて、地区住民との意見交換やアドバイザー派遣に取り組んでいく。</p>						
<p>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</p>							